



鶴ヶ島第一小学校
学校だより

学校教育目標

かしこく なかよく たくましく



ゆずりは

2月号 NO.12

令和6年2月1日



やる気を育てる10か条！

校長 吉澤 充

先月、メジャーリーガーの大谷翔平選手からグローブが寄贈されました。同封された手紙には、「野球に興味を持ってもらいたい。」「グローブが、次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなってほしい。」というメッセージが記載されていました。大谷選手は、幼い頃から野球が好きで、日本のプロ野球やメジャーリーグで活躍することを目標に、努力を重ねてきました。大谷選手のすばらしさは、自分の立てた目標を実現させるための強い気持ち（やる気）を持ち続けていることではないでしょうか。野球の技術を磨くために毎日練習することだけではなく、生活のリズムを整えたり、しっかりと勉強をしたり、挨拶をしたりと幼い頃から教わったあたりまえのこともおろそかにしていないことではないでしょうか。人間は、つい安易な方に流されてしまいがちです。しかし「やる気」があれば、夢や目標に向かって、努力し続けることができると大谷選手は、教えてくれているのではないのでしょうか。

本校では、～なりたい自分になれる学校～というスローガンを掲げています。目標や夢を持って、それに向けて前向きに努力できる児童を育てていきたいと考えています。目標や夢をもった児童は、「やる気」のスイッチが入って、どんなことにも全力で取り組みます。望ましい生活態度や学習への積極性もでてきて、学習内容の理解が深まります。しかし、「やる気」は他人に指示されて、持つものではありません。児童自身が、『やるぞ』と心の中で思った時に、行動に移るものです。

そんな「やる気」の育て方として、埼玉県家庭教育振興協議会が発行した「やる気にさせる親の知恵」という冊子の中で「子ども励まし10箇条」という「やる気」の育て方を紹介しています。

第1条 自分のことは自分でさせる 第2条 めあてを与える、めあてをもたせる

第3条 やったことはまず認めてあげる 第4条 たまには困難を与える

第5条 上手に褒める 第6条 上手に叱る

第7条 好きなことに熱中させる 第8条 失敗を許してあげる

第9条 親のやる気はほどほどに 第10条 明るく温かな家庭づくり



第1条は、放任とは違うので、注意してください。お子様にさせてみながらも、必要に応じて「目」や「手」をかけて、「自分でできた」という成功体験をさせてあげてください。そして、褒めてあげてください。第5条では、上手にというところがポイントです。「漢字テストで100とったよ。」という報告に「すごい。がんばったね。」で終わりにしてください。「でも、簡単だから、みんな100点でしょう。」

とか「まぐれでしょう。」などと余計な言葉は、慎んで「上手に」褒めてください。最終的には第10条です。やはり、お子様の心の安心できる場所としての温かな家庭づくりをお願いいたします。

この10箇条は、学校にもあてはまることです。引き続き、児童の「やる気」を育てていきます。

不審者対応避難訓練の実施

1月20日(土)に不審者が校内に入ってきたという想定で、避難訓練を実施しました。どの学級の児童も教師の指示を聞き、速やかに避難することができました。



側溝掃除の実施

1月20日(土)に保護者の方々の協力を得て、側溝に溜まった長年の泥を掃除することができました。来年も保護者のボランティアを募って、実施する予定です。梅雨時期の降雨量が多い時に池になってしまう校庭の解消に、力を貸してください。



感謝の集いの実施

1月23日(火)に計画委員会が中心となって、お世話になっているスクールガードさんや配膳員さん、校務員さんへお礼のお手紙を渡して感謝の気持ちを伝えることができました。



3年生の民具見学・昔の生活体験学習の実施

1月24日(水)に3年生が学校の北側にある“文化財整理室”へ行きました。そこでは、戦時中の生活の様子や昭和初期の家電、昔の民具などを見学したり、実際に操作したりしました。



3年生のクラブ見学の実施

1月25日(木)に3年生が来年のクラブ選びの参考にするために4年生以上の高学年が活動しているいろいろなクラブの様子を見学しました。



5年生の校外学習の実施

1月30日(火)に社会科の学習として「川口 SKIP シティ」へ行きました。ニュース番組の制作体験として、本物のスタジオと同じ機材を使って、カメラマン、キャスター、音声等といった役割に分かれてスタジオ収録体験をしました。緊張感のある中で、素敵なニュース番組を制作することができました。

